

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	村道湯山江代線防護柵設置工事	水上村	7,099,500	5,770,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	村道湯山江代線防護柵設置工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		水上村		
交付金事業実施場所		水上村大字江代地内		
交付金事業の概要		<p>第5次水上村総合計画に基づき、集落間の通行と産業の振興を図るために、村内生活道路の整備を進めるとともに、自然環境に配慮した道路整備に努めています。村道湯山江代線は湯山地区と江代地区をつなぐ道路であり、ダム湖に面していることから、ダム側への転落等を防止するための防護柵が設置されています。しかし、経年劣化により滑落している箇所や、未整備のあることから、今回防護柵の改修、新設工事を行います。</p> <p>防護柵撤去 L=231.0m 防護柵設置L=306.9m</p>		
総事業費		7,099,500	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	5,770,000  5,770,000
交付金事業の成果目標		水上村総合計画(平成27年度～平成36年度)第6章 高度情報化社会に応じた環境整備(道路・情報網の整備) 第1節 道路交通体系の整備1道路 3道路環境の向上 (1)道路の拡幅・舗装・交通安全施設の設置を進め、安全な道路整備を行います。 目標:当該道路の安全に通行できる道路の割合 現状89% 中間目標94%(平成30年度) 最終目標100%(平成31年度)		
交付金事業の成果指標		成果指標:当該道路の実延長と設置済防護柵の実延長の割合 評価年度:中間目標 平成31年度、最終目標 平成32年度		
交付金事業の成果及び評価		防護柵の改修、新設設置を行ったことで、設置率94%となり、ダム周辺道路の安全性が向上した。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
防護柵設置		指名入札	株式会社武田建設	7,099,500
		計		7,099,500
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載